

D分科会 管理職のための財務の見方

講 師 : 横山 昇一 氏 / 家坂 友幸 氏
(日本私立学校振興・共済事業団)

運営委員 : 真板 陽介 / 長岡 寛治

この分科会には、理事、法人事務局長及び経理部門の管理職の方々を中心に27名の申し込みがあり、学校会計に関する知識が豊富な方から、初めて学校会計に携わる方まで幅広い層の方々にお集まりいただきました。講師には、日本私立学校振興・共済事業団の私学経営情報センター経営支援室から横山昇一室長及び家坂友幸主幹をお招きし、初日と2日目の両日にわたり、学校会計の基礎から、自法人の財務分析、経営判断指標等に至るまでの内容を、演習を織り交ぜながらわかりやすく解説していただきました。

初日は、「職員力の向上」というテーマからスタートし、学校法人を取り巻く環境やSD活動が求められてきた背景等についてのご説明をいただいたことによって、経理・財務担当者の役割の重要性に対する意識が向上し、参加者は意欲的に研修会に臨むことができた実感しております。その後、学校法人会計の歴史や各計算書類の役割や構造について、基礎的な事項から実務的な内容までを学び、管理職として身に付けておかななくてはならない事項の確認と知識の定着を図ることができました。

2日目は、自法人の決算書を用いて、財務分析の実践を行いました。各比率の意味や計算方法を学んだだけでなく、これらの分析結果をいかに活用して自法人の財務状況の健全性を高めていくかを理解することができました。また、活動区分資金収支計算書を活用した経営判断指標による学校法人の経営状態の把握、分析を行うと共に、損益分岐点分析についても演習を交えながら学びました。最後に中長期計画について、その目的や必要性及び策定のプロセスについて丁寧に解説をいただいたことに加え、SWOT分析やPDCAサイクルについても学んだことによって、実際に計画を立案する上ですぐに役に立つ技能を習得することができたと考えております。

最終日は、架空の法人（東西学園）の決算書を用い、各計算書における財務分析の解説及び活用方法についての解説を行いました。東西学園の財務分析結果と自法人の財務分析結果を重ね合わせることで、財務分析の意義や活用法について理解することができました。

この3日間の分科会によって、参加した管理職の方々に、決算書から各学校の現状を読み取り、今後の課題の発見や、経営上の目標等を定める力をつけていただくことができました。分科会の内容については参加者からは概ね好評価をいただいておりますが、来年度以降に向けて、参加者がすぐに業務に活かすことができるような、より具体的かつ実践的な分科会を展開していきたいと考えております。

最後に日本私立学校振興・共済事業団の方々にはわかりやすい資料等をご準備いただいたことに加え、丁寧なご指導をいただきましたことに心より御礼申し上げます。